



稲積中だより

学校教育目標 「人間性豊かな生徒の育成」

たくましい心身 豊かな心 高い知性 健全な社会性

令和7年10月20日

第8号

札幌市立稲積中学校

発行

<http://www.inazumi-j.sapporo-c.ed.jp>

「第40回学校祭によせて」

生徒会部代表

先日、稲積中学校第40回学校祭が、盛況のうちに幕を閉じました。開催にご協力いただいたすべての方に、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

全校生徒が肩を組んで歌うエンディングは、多くの生徒の心に刻まれたことでしょう。「光」というテーマのもと、500人が一つになる瞬間でした。あのひとときを演出しようと、実行委員会は何度も話し合い、頭を悩ませながら一步一步進んできました。紆余曲折はあれど、彼らが曲げずに掲げてきたのは、「稲積中学校のみんなと一緒に、最高の瞬間を体験したい」という思いです。ステージに立つ者、フロアにいる者、実行委員会も他の生徒も、1年生も2年生も3年生も関係なく、全員で一つの空間を創り上げ、同じ光になりたいという強い思いと全校生徒のエネルギーが一体となり、あのようなステージが生まれました。

琴線に触れる体験は、他の誰かに与えられるものではなく、自ら考え、悩み、行動し、なにより、目の前の仲間と支え合うことによって手に入れられるものです。

学校祭の成功に向けて努力したすべての生徒が、ほんの少しでもそれを実感してくれたのなら、大変うれしく思います。



「学校祭で得たもの」

1学年 代表生徒

私の学校祭での役割は、演劇部門の大道具づくりでした。舞台には立ちませんでしたが、私はこの学校祭で大きく成長することができたと思います。

それまでの校外学習などは学級で活動していたので、部門ごとの活動は新鮮に感じました。自分の担当の作業を、仲間と工夫しながら進め、終わったら他の作業にも積極的に取り組みました。途中、期限までに完成するのかと不安になることもありましたが、期限内に全て完成させることができました。でもまだそれで終わりではなく、追加の製作や本番での仕事など、劇を仕上げるための作業が多くありました。特に、幕などの操作をすることになった時は、緊張すると同時に責任感を感じ、最後までやり切ろうと張り切りました。

細部までこだわり、協力して創り上げた劇は、とても良いものになりました。私も、仲間と団結して準備をし、任された仕事をやりとげられました。日々の生活でも、みんなと協力し、自分の仕事に責任感をもって過ごしていきたいです。



す。

「制作を振り返って」

2学年 代表生徒

私は装飾チームとして、階段に貼る三つの絵の中の一つを7人で担当した。最初は長いと思っていた準備期間が、絵を描き始めた途端にとっても短く感じた。「期間内に本当に完成できるのだろうか。」何度も心の中でそう思い、不安な気持ちになった。完成が近づくにつれ、そんな思いは薄まっていき、無事に完成したときには深い安心感と達成感で胸がいっぱいになった。階段を昇る際、私たちが協力して描き上げた絵が目に入る度に感慨深い気持ちになった。取り外さなければならないということが名残惜しく感じる。絵を描いている途中、色とりどりの絵の具が、手と、それから少量だがジャージにもついてしまった。きっと私は、これからジャージについた緑色の絵の具を見る度に、この学校祭のことを思い出すのだろう。



「形にならない思い出」

3学年 代表生徒

私は今年初めてステージ発表に挑戦しました。1、2年の頃は装飾と音響でステージ発表を見る側だったが、勢いで今年はオープニング発表を希望しました。

私達のグループはダンスをすることになったが、最初は恥ずかしさでぎこちないダンスだった。けれども練習を重ねていくうちにある程度形になっていき、少しずつ自信をもてるようになりました。そして迎えた当日の朝、私はものすごく緊張しながら登校し、衣装に着替え最終確認をしました。私の頭の中には、一人だけミスしたらどうしようという不安な気持ちしかありませんでした。



それでも、先生の『『失敗したくない』ではなく『成功させたい』という気持ちで臨もう』という言葉で緊張が解け、最高のパフォーマンスをすることができました。

ステージ発表の成果は、装飾と違って形には残らないからこそ、かえって一人一人の思い出に残りました。私は、最初は勢いで選んだオープニング発表ですが、選んでよかったな、と思いました。

「学校祭を振り返って」

6組 代表生徒

今年の学校祭のテーマは『光』でした。6組の装飾のテーマは、『SIXKED ふたつの光』でした。僕は、絵の具で絵を描いたり、吊り下げ型の飾りの枠に色を塗ったりしました。花は、最初に鉛筆で下描きをしてから、絵の具で色を塗って完成させます。飾りの枠は、きれいに塗るのがとても難しかったです。また、当日は装飾アピールタイムにも参加しました。僕は青いサルの格好をしました。サルのマスクと青い羽根を背中に付けて発表をしました。切り絵の見どころについて、大きな声で話すことができました。他の装飾部門の作品では、特に2年装飾の『光の階段』の絵が細かくて驚きました。そして、印象に残ったステージ発表は、

『イナゲーム』と『踊れハートを掴むまで』です。理由は、とてもダンスや演技が上手かったからです。中学校最後の学校祭は、とても感動的でした。高校の学校祭も楽しみです。

